



# 茨城県の経済情勢報告

令和3年1月28日

財務省関東財務局水戸財務事務所

本件に関するお問い合わせ先

水戸財務事務所財務課

電話 029-221-3180

## 1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、  
 厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる」

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	➡

（注）3年1月判断は、前回2年10月判断以降、3年1月に入ってからからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、感染症の影響により、弱含んでいる。

【各項目の判断】

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる	↗
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	➡
設備投資	2年度は増加見込みとなっている	2年度は増加見込みとなっている	➡
企業収益	2年度は増益見込みとなっている	2年度は増益見込みとなっている	➡
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「上昇」超に転じている	↗
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	↗
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	➡

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染拡大が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

■ **個人消費** 「新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある」

百貨店・スーパー販売額、家電販売額、ドラッグストア販売額及びホームセンター販売額は前年を上回

っているものの、コンビニエンスストア販売額は前年を下回っている。また、乗用車の新車登録届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車いずれも前年を上回っている。宿泊や飲食サービスなどは持ち直しの動きがみられたものの、足下で弱含んでいる。このように個人消費は、感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。

#### (主なヒアリング結果)

- 外出自粛の影響でまとめ買いする客が増えており、前年同期に比べ客数は減少する一方で、客単価は増加傾向にある。オードブルは大人数用よりも個食タイプが売れている。(百貨店・スーパー)
- 厳冬や感染症の影響で暖房器具や加湿器の需要が増えており、換気ができるエアコンも注目されている。(家電量販店)
- 外出自粛の影響で、DIY が本格化しているほか、ガーデニング部門やペット部門も売上が上がっている。また、感染症をきっかけにして新聞の折り込みチラシを止めて、広告宣伝費の削減を行った。(ホームセンター)
- 新型車の効果もあり、販売台数は前年同期と比べて好調であった。(自動車販売)
- 10月から11月は「Go To トラベル」の効果で客室稼働率も上がってきたが、感染者が再拡大してきたことで、「Go To トラベル」が一時停止になったことや外出自粛が要請されたことが影響して、年末から足下にかけてビジネス客、レジャー客ともに不調である。(宿泊)
- 年末の売上は、年越しそばや弁当などのテイクアウトが下支えしたものの、年始の売上は、大人数で来店する客が減少したため、前年と比べて大幅に落ち込んだ。(飲食サービス)
- 団体旅行は大人数での移動を避ける傾向が続いているため需要は殆ど無く、修学旅行を実施した学校では日帰りにするなど規模を小さくさせたこともあり、例年より旅行単価が低下した。(旅行)

### ■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる」

生産を業種別にみると、化学、生産用機械、電気機械などが増加しており、感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。

- 自動車関連部品の材料の需要が回復してきたため、今期の生産量は前年に戻りつつある。(化学)
- 国内需要が感染症の影響から回復してきたことから、建設機械の生産量は増加を見込んでいる。(生産用機械)
- 外出自粛やテレワークにより巣ごもり需要が拡大し、国内需要が戻ってきているため、主力の家電製品の生産量は前年並みに回復してきている。(電気機械)

### ■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

新規求人数は増加しているものの、有効求人倍率は低下しているなど、感染症の影響により、雇用情勢は弱含んでいる。

- 雇用調整助成金を活用しながら職員を休業させて、人員の配置調整を行っている。(運輸・小売業)
- 臨時職員については、感染症の影響で宿泊業や飲食サービス業などの他業種からの応募が増えている。(小売業)

### ■ 設備投資 「2年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期

- 2年度の設備投資計画は、製造業では前年比13.9%の増加見込み、非製造業では同18.2%の増加見込みとなっており、全産業では同16.0%の増加見込みとなっている。

### ■ 企業収益 「2年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期

- 2年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)は、製造業では前年比55.6%の増益見込み、非製造業では同4.3%の増益見込みとなっており、全体では同11.9%の増益見込みとなっている。

### ■ 企業の景況感 「『上昇』超に転じている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期

- 企業の景況判断BSIは、前四半期(2年7~9月期)に比べ、「上昇」超に転じている。先行きについては、「下降」超に転じる見通しとなっている。

### ■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家は前年を下回っているものの、分譲住宅は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

- テレワークの普及により、賃貸住宅から戸建て住宅に移り住む需要が増え、特に東京へのアクセスが良い、つくばエクスプレス沿線地域での販売が増加している。(住宅建設)

### ■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、前年を上回っている。